

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和6年8月6日

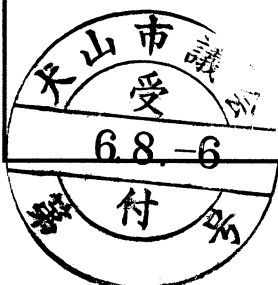
犬山市議会

議長 柴田 浩行 様

議員 名 光 清 毅

下記のとおり、政務活動費により行政視察の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和6年7月29日(月)・30日(火)・31日(水) (2泊3日)
(2) 場 所	・宮崎県日南市役所、鹿児島県霧島市役所、鹿児島県南九州市知覧特攻平和会館
(3) 形 態	会派(創犬会)
(4) 内 容	別紙の通り
(5) 成果・提言	○日南市におけるIT企業誘致を参考に、以下の点を提言します。 1. 当市では、中心市街地の活性化について、既に取り組んでいるが、IT企業のサテライトオフィスも一つの手法として有効であり、今後検討してもらいたい。 2. IT企業の誘致にあたっては、その分野に精通した専門家の存在が必要不可欠であり、今後そうした人脈づくりに市をあげて取り組む必要がある。 3. 企業進出の際の地元雇用にあたっての奨励金についても、他の自治体を参考に検討したらどうか。 ○霧島市における定住促進を参考に、以下の点を提言します。 1. 当市においても、中山間地域等への移住について、補助金の再検討し、促進を図る必要がある。 2. 市内への移住希望者に対する情報発信のあり方や対応体制について、参考に取り入れてもらいたい。 ○知覧特攻平和会館における平和学習については、オンライン等により市内の小・中・高校生に紹介する機会を設けてたらどうか。



○視察成果

◇宮崎県日南市 （面積：535.49km² 人口：47,396人）

I T企業誘致について

○日南市では、持続可能な地域づくりを目標とし、若年層の市外流出防止やUターンの増加のため、中心商店街にI T企業のサテライトオフィスの誘致を進めてきた。

○若年層の雇用にあたっては、従来から事務職については求人数が求職数を大きく下回っていたが、I T企業誘致の結果、1.19倍となり、2016年以降は、若年女性の市外への転出超過も鈍化している。

○2016年4月からの3年間で、16社のI T企業が進出している。

I T企業が日南市へ進出した理由としては、①各企業からの質問や要望に対するレスポンスの速さ ②人材獲得や人材育成に対する資金・ソフト面の支援の充実 などがあげられる。

I T企業の進出は雇用を創出しただけでなく、日南市の賃金や福利厚生などの労働環境の底上げにもつながっている。

○2013年に就任した崎田恭平市長が、マーケティングの専門官を2名（街づくりコンサルタント：木藤良太氏 マーケティング専門官：田鹿倫基氏）を登用し、内需の循環と外需の獲得を進めてきた。

新規の店舗開設は、4年間で目標の20店舗を超え29店舗の実績がある。

○視察成果

◇ 鹿児島県霧島市（面積：603.17km² 人口：123,179人）

定住促進について

○霧島市では、人口が減少している中山間地域の活性化及び市内の空き家の有効活用を図ることを目的に、市外からの定住促進を進めている。

○移住者に対する補助金を交付する制度を平成20年4月から設けている。

転入定住者（市外住民）だけでなく、市街地から中山間地域への転居者に対しても補助金を支給している。その場合、最大50万円。

補助制度による移住者実績は、17年間で754世帯、2104人となっているが、空港や高速道路があり交通の便がよく市街地に近い「溝辺」地区が最大で移住人数が811人となっている。

○霧島市への移住を検討してもらうため、「移住体験ツアー」を2泊3日で平成19年度から実施して、先輩移住者との意見交換や農業体験、市内物件案内、観光等を行っている。累計97組162人の参加者実績があり、参加者から好評を得ている。

また、令和5年度から「オーダーメイド型移住ツアー」を実施して、職員が案内をして移住希望者の幅広いニーズに沿った企画を提供している。

○この他の移住支援として、オンライン相談会を令和5年度から毎月1回開催。1組40分で行っており、月平均1.3組の相談がある。

平成19年度から東京や大阪で開催されている積極的に「移住イベント」にも参加して延べ861組の相談を受け、その結果20組39人の移住に繋がった。

○今後の展開としては、さらなる情報発信力を高めること、相談体制の充実、相談からツアー参加に結びつけることなどを考えている。

○視察成果

◇ 知覧特攻平和会館（鹿児島県南九州市知覧町郡 17881）

太平洋戦争での特攻作戦で亡くなった陸軍特別攻撃隊員の遺品や関係資料等を収集保存展示し、その記録を後世に残すとともに、平和のメッセージを発信し、平和の大切さ、命の尊さを語り継ぎ、世界恒久の平和に寄与することを目的に昭和62年2月に建設された。

その後、何度かの増築工事・改修工事を実施して、現在に至っている。

現在の総延べ床面積：3,193.68㎡ 敷地面積：10,298.85㎡

館の運営は、南九州市による知覧特攻平和会館組合が担当している。

平和学習について

○知覧特攻平和会館での平和学習の特徴

- ①「語り部の講話」を聞くことで、子どもたちの理解を深める。
- ②HPに「オンラインミュージアム」を開設等により充実した事前・事後学習プログラムを提供している。

○知覧特攻平和会館での平和学習のポイント

- ①児童・生徒らと同世代の若者たちのエピソードを聞き、自分ごととして「平和・いのち」について考える。
- ②「分かる・読める」がコンセプトの展示室を見学し、理解を深める。
・語り部による講話を含めて約90分のおすすめプログラムを行っている。

知覧特攻平和会館事業の概要

①資料の収集・保存活動

資料数：特攻隊員の遺品、戦時中の資料等16,847点

②教育・普及活動

館内案内人（語り部）6名が、教育旅行・修学旅行・一般団体等に説明・案内をしている。 令和5年度実績：小・中・高校等で593校、41,059人

③広報活動

④平和事業

「平和のメッセージ from 知覧スピーチコンテスト」を毎年8月15日に開催している。 令和5年度実績：応募数 小・中・高校生及び一般で2,560件